

似顔絵をえがこう！

小学校・4～6年生

I プログラムについて

1 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「共感と連帯感」）

＝【人権感覚育成のための視点】

相手の立場や思いに興味関心をもって考えることができる。また、お互いの作品を見せ合う活動を通して、似顔絵を描く難しさや特徴をとらえる面白さについて共感させるとともに、描き方のポイントを教え合うことで連帯感を育てる。

2 関連する教科等について

○学級活動

内容（2） 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
（イ よりよい人間関係の形成）

3 人権教育上の視点

- （1） 他者の思いや願いに関心を寄せるとともに、他者の意見に耳を傾けたり、他者に肯定的な態度で接したりしようとする。（価値・態度）
- （2） 誰とでも分け隔てなく課題を考えたり、教え合ったりするなど、協力して解決に向け取り組むことができる。（技能）

II アクティビティーについて

1 概要

○活動1

「似顔絵をえがこう！」を行う。

○活動2

似顔絵を見せ合い、グループ内で互いの絵のよいところなどを話し合う。

○活動3

友達の助言などを生かして、「似顔絵をえがこう！」の続きを行う。

○活動4

本時の活動を振り返ってグループ内で話し合う。

2 準備するもの

- 導入のクイズ用の似顔絵
- 児童が知っている人の写真をプリントアウトしたもの
 - ・大きさはA5判くらい
 - ・児童数の半分以上の枚数を準備
 - ・有名人（例えば歴史上の人物など）や学校の先生がよい
- B5判やA4判の用紙（児童数の2倍以上の枚数を準備しておく）

3 アクティビティーの進め方

- 活動1 「似顔絵をえがこう！」
 - ① 写真を見ながら、特徴をとらえ、似顔絵を描く。
 - ② 写真が見やすいよう2人1組でペアになる。
 - ③ この後二つのペアで4人グループをつくるので、何種類かの写真をペアで準備しておく。
- 活動2 「似顔絵を見せ合おう」
 - ① 4人グループになり、友達の似顔絵のよいところを称賛する。
 - ② 作品のよさや、描くのに苦労した点を話し合う。
 - ③ 友達のうまく描けたところについて、どう描いたか助言を聞く。
- 活動3 「似顔絵をえがこう！（続き）」
 - ① 4人グループのまま、もう一度写真を見ながら、友達の助言を生かして似顔絵を描き直す。
- 活動4 「振り返り」
 - ① 同じ写真をもとに描いていても、絵にはそれぞれのよさが出ていることに気付く。
 - ② 協力し合う体験を通して、連帯する大切さを味わわせる。

4 アクティビティーを指導する際のポイント

- 単に似顔絵を上手に描くことが目的ではなく、似顔絵描きに友達の助言を取り入れることによる効果を伝えたり、友達の助言を生かしている児童の言動について取り上げたりすることなどが大切である。
- 活動1の「似顔絵をえがこう！」の練習では、絵を描くことに集中させるため、1人で活動するよう指導する。
- 活動2の「似顔絵を見せ合おう」では、活動3に向けて「よさを認め合う」視点から、うまく描けるためのポイントを伝え合うよう、指導する。
- 活動3では、話し合いながら活動してもよいが、友達の助言を生かして1回目よりも特徴をとらえた似顔絵を描けるよう指導する。
- 例えば、年度当初や席替えをしたとき、林間学校での雨天時のレクリエーションといった行事などのグループ活動で実践すると効果的である。

Ⅲ 授業の実際

時間	学習活動 発問 (T) 児童の反応例 (C)	教師の働きかけ (・) 人権教育上の配慮 (◎)
2分	<p>1 アイスブレイキング「似顔絵あてクイズ」</p> <p>T これは誰に見えますか。</p> <p>C ○○さんかな。</p> <p>T 今日は写真を見てみんなの知る有名な似顔絵を描きます。</p> <p>C えー！難しそう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 似顔絵あてクイズを通して、わくわくした気持ちを抱かせる。 ・ 1～2問でよい。 ・ 児童に「楽しい活動になりそうだ」と思わせる雰囲気をつくり、展開につなげる。
33分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> 似顔絵をえがこう！ </div> <p>2 学習内容（手順）の確認</p> <p>T はじめに似顔絵を描きます。次にグループになり、もっとうまく描くための話合いをします。友達の助言を生かして似顔絵を描き直し、最後に振り返りを行います。</p> <p>3 似顔絵描き</p> <p>T 写真を見ながらペアになって描きます。ペアによって写真が違うので、配られたら声を出しません。それでは、始めてください。</p> <p>4 似顔絵の見せ合い (グループでの話合い活動)</p> <p>T 4人グループになって、描くのに苦労した点やうまく描けたところについて伝え合い、もっとうまく描けるコツをつかみましょう。</p> <p>C 目はうまく描けたんだけど。</p> <p>C どうやったら上手に描けるの。</p> <p>C 先にここを描いておくとうまくいくよ。でも鼻を描くのが苦手なんだ。どうすればいいかなあ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学習の全体の流れについて見通しをもたせる。 ・ 本時は活動に時間がかかるので、時間を確保するために説明は簡潔に行う。 ・ 2人のペアにB5判やA4判の用紙、裏にした写真の順に配布していく。 ・ グループ内の作品のうち、うまく描けていると思う点について、どのように描いたのか、コツを積極的に聞き合うように助言する。 <p>◎ 誰とでも分け隔てなく協力して課題を考えたり、教え合ったりするなど、課題解決に向け取り組むことができるよう声掛けをする。 (技能)</p>

	<p>C 難しいよね。写真をよく見てバランスよく描くといいと思うよ。</p> <p>5 似顔絵描き（続き）</p> <p>T もう一度写真を見ながら、友達の助言を生かして似顔絵を描き直しましょう。</p>	<p>・ 1人で黙々と進めても、進めながら友達に質問して助言を聞いて描いても可とする。</p> <p>◎他者に肯定的な態度で接する機会にできるよう、他者の意見をどのように取り入れたのかを確認する。（価値・態度）</p>
<p>10分</p>	<p>6 振り返り</p> <p>T 似顔絵を描き終えて、どんな感想がありますか。</p> <p>C はじめは上手に描けなかったけれど、友達に描き方を教わったら上手に描けた。</p> <p>T どうして似顔絵が似てきたのでしょうか。</p> <p>C 友達の助言を聞いたからうまく描けるようになった。</p>	<p>・ 本時の学習を振り返り、友達の助言の効果について考えさせる。</p> <p>・ 児童の発言をつなげていくことで本時の学習の振り返りにする。</p> <p>・ 似顔絵には描いた人それぞれのよさが出ていることに気付かせる。</p>

IV 資料

(1) 板書例

似顔絵をえがこう！

有名人Aさん 有名人Bさん

似顔絵はどうでしたか？

今日の学習の流れ

- 1 似顔絵をえがこう！
 - ①写真を見ながら、特徴をとらえ、似顔絵をえがく。
 - ②写真が見やすいよう2人1組でペアになる。
- 2 似顔絵を見せ合おう！
 - ①4人グループになり、自分の絵のよいところを伝える。
 - ②作品のよさや、えがくの苦労した点を話し合う。
 - ③友達のうまくえがけたところについて、どうえがいたのかを聞く。
- 3 似顔絵をえがこう！（つづき）
 - 4人グループのまま、もう一度有名人の写真を見ながら、友達の助言を生かして似顔絵をえがく。
- 4 振り返り